

上関

未来通信

豊かな町を原子力発電とともに

上関町まちづくり連絡協議会 ● 会報

No.50

正月号

通算364号

発行 令和8年1月13日

# 頌春

## 2025 年の出来事

- 1月23日：未来通信48号（山本 隆三氏講演会）  
および正月号 発行
- 3月25日：町連協幹事会
- 5月25日：青壮協清掃活動
- 9月29日：町連協幹事会
- 10月18日：「教えて 使用済燃料中間貯蔵施設の  
ウソ？ホント！」発行
- 10月26日：原子力の日（のぼり設置・街宣活動）  
エネルギー講演会を開催（講師・金田 武司氏）
- 12月15日：未来通信49号（金田 武司氏講演会）発行
- 12月16日：町連協幹事会

八島から昇る朝日（四代上空から撮影）



上関町まちづくり連絡協議会

代表幹事 岩木 成記

あけましておめでとうございます。  
皆さまにおかれましては、新たな年  
を希望に満ちたお気持ちでお迎えの  
ことと思います。また、皆さまには、  
平素より「上関町まちづくり連絡協  
議会」の活動にご理解とご協力を賜り、  
厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、国のエネルギー政策において大きな転換点を迎えま  
した。閣議決定された「第7次エネルギー基本計画」では、再生可能  
エネルギーとともに、原子力もエネルギー安全保障に寄与し、脱炭素  
効果の高い電源として最大限活用することが示され、東日本大震災  
以降の計画で掲げられていた「可能な限り低減する」という方針から、  
大きく舵を切りました。これは、電力の安定供給と脱炭素の両立を目指  
す中で、原子力の重要性が再認識された証であり、「上関原子力発電  
所とともに夢のある未来へ」に向けて、私たちの期待が大きく膨らむ  
年となりました。

一方で、中国電力は現在、上関町の新たな地域振興策として、使用  
済燃料中間貯蔵施設の設置に係る検討を進めています。この取り組み  
は、まちづくりの財源確保に加え、雇用の創出にもつながるものであり、  
町の人口減少や高齢化といった課題に対し、未来に向けた持続可能  
なまちづくりを実現するための鍵になると受け止めています。当会  
としても、この中間貯蔵施設について理解を深め、必要性や安全性な  
どをしっかりと訴えていきたいと考えています。

私は昨年に引き続き、当会の代表幹事として、歴代の意思を受け継  
ぎながら、地域の皆さまとともに「活力ある豊かな町づくり」を推進  
してまいります。本年も、講演会や勉強会などを通じて、  
原子力に関する正しい理解を深める活動を積極的に  
展開してまいりますので、引き続きご支援・ご協力を  
賜りますようお願いいたします。

最後に、2026年が皆さまにとりまして、明るく  
元気な一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



2026 年 イラスト／古泉祥生氏



# 茨城県 日本原子力発電(株) 東海第二発電所 乾式貯蔵施設(中間貯蔵施設と同じ貯蔵方式)を 見学された方の感想をご紹介します。



中間貯蔵施設に保管するキャスクを自分の目で見て触れることで、安全に管理できると思いました。

今田さん(室津)



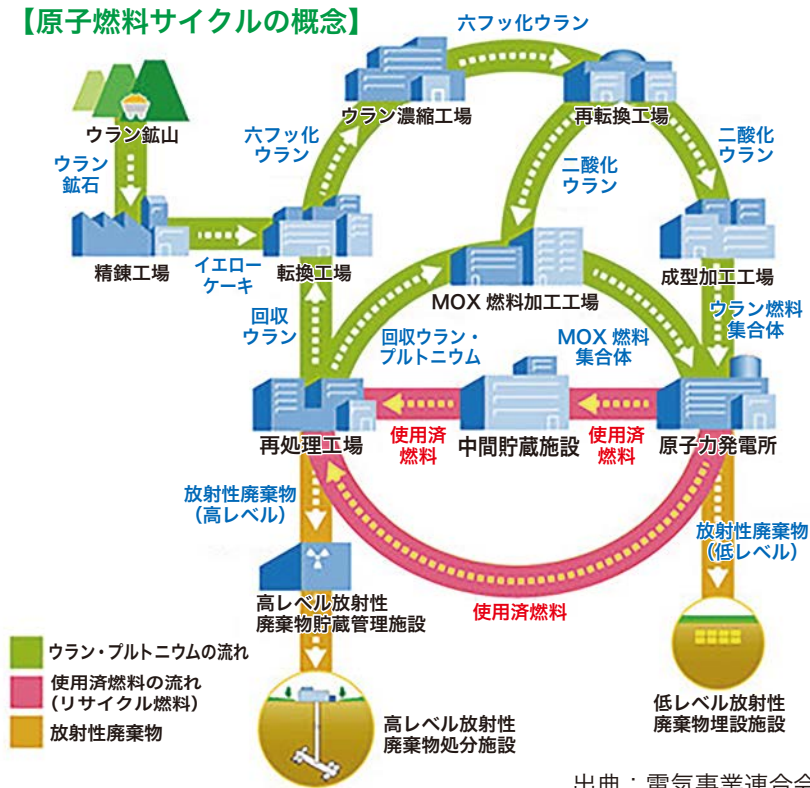
東海第二発電所の乾式貯蔵施設は2001年から運用開始。東日本大震災を経験しましたが、これまでにトラブルはなく、20年以上の実績があります。視察し、実際に触れることもできます。

## 中間貯蔵施設に置くものは 「核のゴミ」ではありません。 『リサイクル燃料』です！

使用済燃料が核のゴミであると言っている人がいますが、使用済燃料は、ほぼ全てリサイクルできる燃料で貴重な日本の資源です。

周りの人で、それを信じている人がいたら正しい知識を教えてあげましょう。

### 【原子燃料サイクルの概念】



キャスクに触れる前と後で放射線の線量値が変わらず0で安心しました。

(70代女性)



施設に入って何か不安を感じることはなく、危険が及ぶことを想像することのほうが難しかったです。

辻さん(白井田)



上関町の今後のことを考えると、安全性に十分配慮し早期に建設してほしいと思いました。

田中さん(上関)



東日本大震災時の震度6弱の揺れを受けても、安全に貯蔵できたという説明を聞いて、頑丈な施設であることが分かりました。

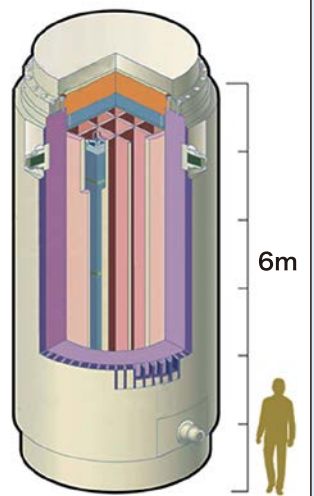
(20代男性)



中国電力からの説明を聞いて、実際に見学会に参加して、より理解が深まりました。

(30代女性)

### 金属キャスク



出典：日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」

## 午

うま

干支

の

干支

の

干支

今年の干支「午(うま)」は十二支の中で7番目にあたり、方角では「南」、時刻では「正午(午の刻)」を表します。「正午」という言葉が今も使われているのは、この干支に由来しているのです。

馬は古来より人の移動や農耕、戦に欠かせない存在で、信仰とも深く結びついていました。絵馬はもともと本物の馬を奉納していた名残で、馬が願いを天に運ぶ象徴とされていたからです。

午年生まれの方は、陽気で社交的、行動力があり、物事を前に進めるエネルギーが強いといわれます。また、午は活力や情熱の象徴でもあるため、午年は景気や流行の動きが活発になりやすく、世の中がスピード感を増す年とも言われます。

午年である今年は、エネルギー溢れる馬が力強く駆けるように、これまでの努力が形になり、大きく前進する一年にしたいものです。

●誤った情報でもそれを何度も何度も目にしていると、人は影響を受けてしまうのかもしれない。●周辺市町の選挙の結果などをみてみると、反対活動に比べて推進活動を行う難しさを痛感します。●しかし「百聞は一見にしかず」。実際に自分の目で見て確認すると、懸念は一気に吹き飛びます。●中間貯蔵施設はまさにそれで、ひと目で180度見方が変わった人も多いのではないでしょうか。●今年の干支は午です。うまは前向きなエネルギー、成功、繁栄のシンボルとして日本人に長く親しまれています。●午年にちなんで、今年が中間貯蔵施設や原子力発電所計画が飛躍的に進んでいくよう祈っています。(K)

後記